



『復興応援』第9回高木ふれあい祭り

11月12日、高木小学校体育館で「高木ふれあい祭り」が開催されました。町公民館高木分館（木村定徳分館長）が主催し、町地域支え合いセンターなどが協力したこの祭りは、約600人が参加。地域住民は日本舞踊や詩吟、カラオケを披露。ばってん劇団による肥後にわか、歌手の水原愛さんの歌謡ショーなどの実演もありました。参加者は、提供された宮城名物「はっと汁」やぜんざいを食べ、心から温まったところで、笑いあり、涙ありのお楽しみ大抽選会を楽しみました。



1_水原愛with下高野老人クラブによる「水原愛メドレー」 2_笑顔があふれる観客席
3_高木小1・2年による「ディズニーメドレー」 4_ばってん劇団の「肥後にわか」
5_盛り上がりを見せたお楽しみ大抽選会
6_特別企画「復興応援プロジェクト」パネルディスカッション

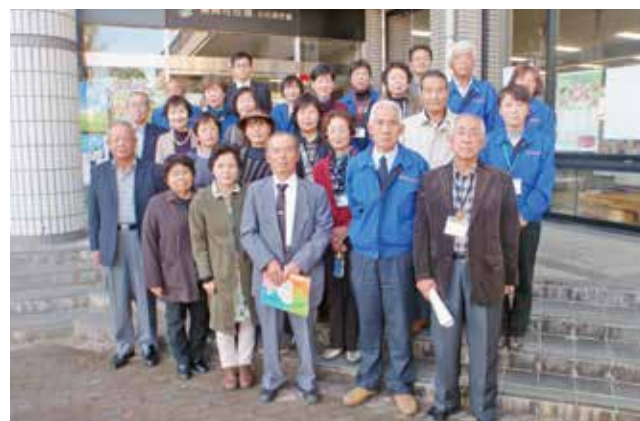


木倉小で文化庁巡回公演

11月13日、文化庁主催の文化芸術による子ども育成事業の一環として、木倉小学校（河地浩太郎校長・125人）で劇が公演されました。公演は、東京演劇集団「風」による『星の王子さま』。懸命に生きる王子の一途な姿は、「大切なものは目には見えない。心で見なければ」ということを児童たちの心に語りかけていました。一幕のラストシーンでは、9月から練習してきた児童たちや先生たちも一緒に参加し、学校全体で思い出に残る公演をつくり上げました。



舞台上で演じる6年生の児童たち



両町村の民生委員児童委員協議会

東峰村民生委員児童委員協議会に見舞金

九州北部豪雨によって被災した、福岡県東峰村民生委員児童委員協議会（坂本征彦会長・12人）に11月16日、御船町民生委員児童委員協議会（川口勝行会長・46人）が見舞金を贈呈しました。見舞金は町の民生委員児童委員46人から寄付を募ったもので、役員16人が東峰村役場小石原庁舎にて東峰村民生委員へ手渡しました。東峰村の坂本会長は「災害当時は何をしてよいか全く分らなかった。ボランティアの方々などの助けのおかげでここまで復旧できた。見舞金は大切に使いたい」と話しました。



人権擁護委員の話を真剣に聞く生徒たち

町が平成音楽大学と包括協定

11月10日、町は学校法人御船学園平成音楽大学（出田敬三理事長・学長）と連携協力に関する包括協定を締結しました。この協定は、保育園から大学までの教育環境の整った町という特色を生かした移住定住活動や各種イベント等における音楽文化の普及啓発活動、自然災害時における相互協力など連携して取組を行っていくものです。出田理事長・学長は「この協定でさまざまな教育から、さまざまな方へのサポート、そして人が集まることによって国際音楽祭など大きな夢と希望、大きな展開ができる」と力強く話しました。

御船小で人権の大切さを知る

11月10日、御船小学校（大脇為久校長・339人）の3・4年生を対象に人権擁護委員による人権教室が行われました。これは、思いやりの心やかかげのない命を大切に感じることを目的としています。まず、障がいを持っている人たちのことを考えるためにDVD観賞をしました。児童たちは、真剣なまなざしで見て、「勝手に壁をつくらない」などの意見が出るなど人権への理解を深めました。人権イメージキャラクターの人KENまもるくんは「自分のいいところ、みんなのいいところを見つけて友達を作ってください」と話しました。



調印した出田理事長・学長（前列右）と藤木町長（前列左）

第11回春季全日本小学生男子ソフトボール大会熊本県予選会 小坂ジュニアソフトボールクラブ6度目の優勝！

11月11日・12日に、第11回春季全日本小学生男子ソフトボール大会熊本県予選会が富合雁回公園グラウンドで開催され、小坂ジュニアソフトボールクラブが2年連続6度目の優勝を勝ち取りました。同クラブは、平成30年3月に宮崎県で開催される全国大会に出場します。岩野勇監督は「子どもたちの能力は無限大。持っている力を出し切りたい」と抱負を語りました。



1

<小坂ジュニアソフトボールクラブの成績表>

	VS 相手チーム	得点
1回戦	青海小学校	11 - 0
2回戦	河江小学校	8 - 0
準決勝	不知火・松合	20 - 0
決勝	荒尾府本 SC	2 - 0



4



3



2

1_みんなで声を出し、気合い入れる選手たち 2_みんなで勝ち取った優勝
3_力投した本田壮太選手 4_胸上げられる選手